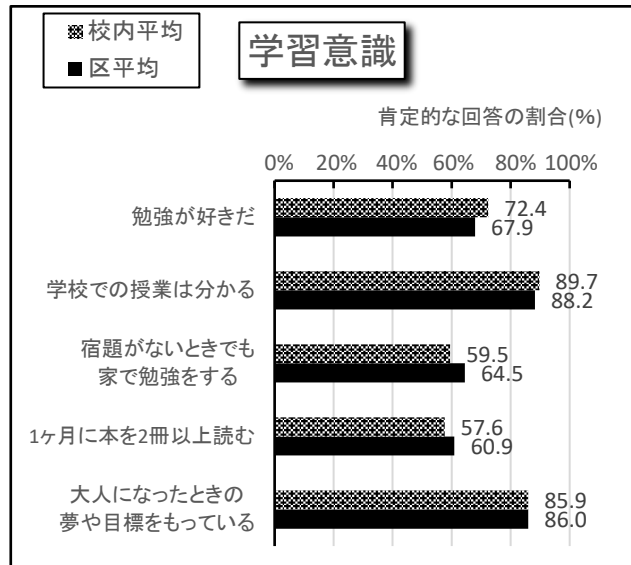
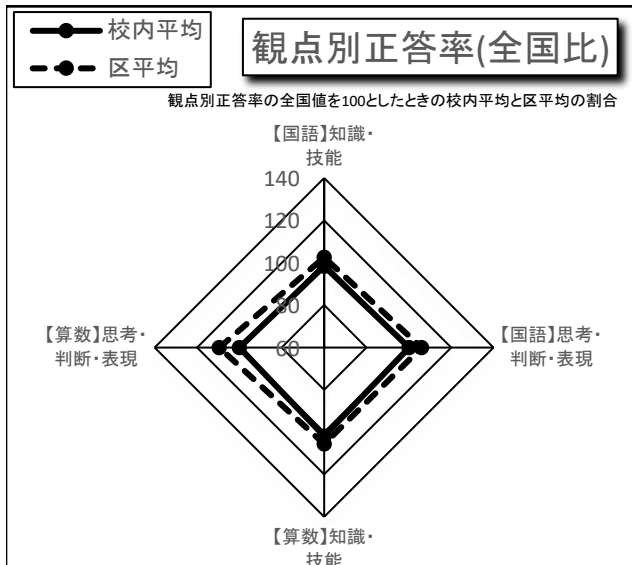


足立区立中川東小学校



	学校全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値(R3)			68.8	74.7	66.2	74.5	53.7	58.3	56.8	62.9	59.6	50.3
通過率(R3)	77.5	79.6	89.1	97.8	77.6	69.0	89.8	98.0	58.5	56.1	70.0	76.5
目標値(R1)			69.1	65.4	73.2	71.6	47.8	63.4	53.4	59.4	58.4	43.2
通過率(R1)	73.0	75.2	67.3	87.5	76.2	66.7	82.7	78.4	70.0	62.0	68.6	80.4
平均正答率(R3)	71.3	75.0	83.8	91.8	73.8	78.5	71.9	78.3	59.0	61.7	69.4	66.7
平均正答率(R1)	68.3	69.5	80.7	80.9	81.3	78.2	59.4	76.1	60.9	62.1	66.0	55.3

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合[目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]

◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値

「学習定着度調査」分析結果

【意識調査】家庭学習、読書量以外は区平均を上回っており、意欲的に学習している児童が多い。日々の授業に満足感や達成感を感じていると考えられる。児童が目標をもち、より自発的に学習や読書に取り組むことができるような授業改善や、学校で学んだことを生活や家庭で生かす自主学習、読書カードなどの工夫、家庭との共通理解や連携協力がより一層必要だと考えられる。

【国語】前回と比較すると、正答率3.0ポイント、通過率4.5ポイント上がった。観点別正答率を見ると、国語の「書く力」の観点が高く、領域では「説明的文章」「文学的な文章」が課題となっている。自分の考えを書いたり、友達の発表を聞いて付け足しや修正したりする活動の充実を図る。とりわけ「書く力」の観点では、二極化している傾向がみられるので、下位層の児童の文章読解を踏まえた記述の指導に重点を置く必要がある。

【算数】前回と比較すると、正答率5.5ポイント、通過率4.4ポイント上がっている。しかし、算数の「思考・判断・表現」は区平均を下回っている。特に記述式の応用問題で課題が見られる。考え方を文章で書いて説明するといった書く問題の正答率が低い。普段の授業から意図的に立式や求め方を書く活動を取り入れ、文章を論理的に組み立てる力の向上が必要である。

学校による学力向上への主な取り組み

- ①パワーアップタイム
週3日朝15分間を計画的に実施。(国語:読解、算数:計算)
- ②花丸教室(放課後補習教室)
週2日放課後30分間。区学力調査や国語・算数の単元テストの結果を分析し、課題のある学習内容、児童を絞り込む。計画的に補習・補充学習を実施する。専科教員を交えた全教職員で行う。
- ③サマースクール(夏季補習教室)
各学年60分間・土日を除く10日間。区調査で目標値に達しなかった児童を対象に実施。専科教員を交えた全教職員で行う。
- ④家庭との連携
全学年で家庭学習カードに毎月取り組み、全児童が宿題・自主学習に取り組む。
- ⑤読書月間
年3回設定し、学年ごとに目標ページ数を決め、読書の推進を図る。